

STD プレス

【必要物品】

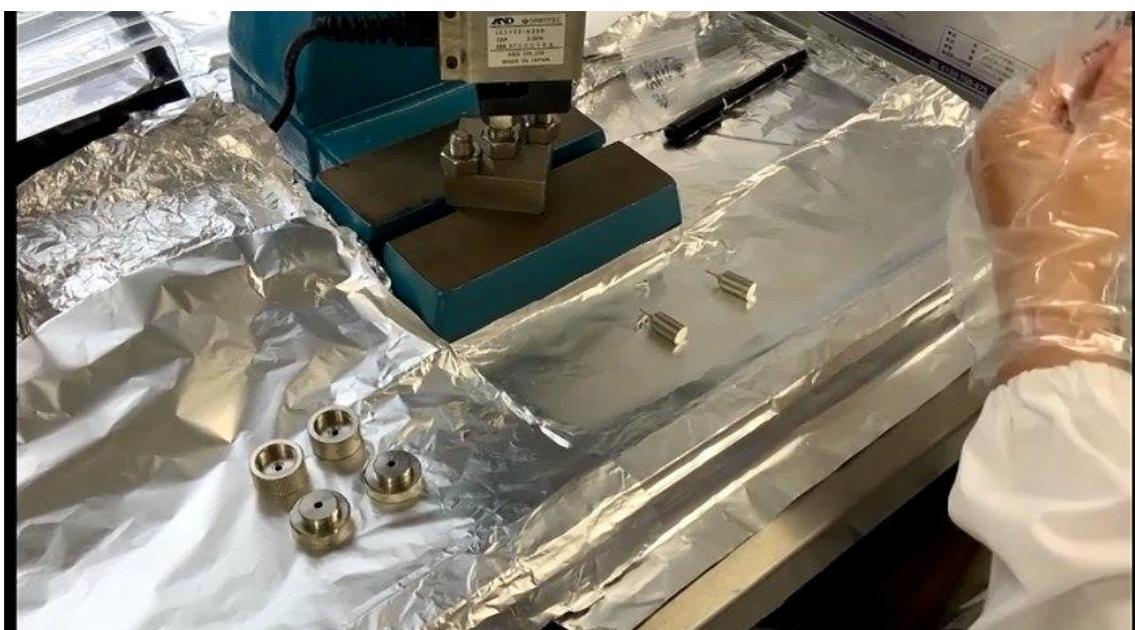


- ・プレス機
- ・プレス治具
- ・位置出しピン
- ・カソード
- ・プレスピン
- ・スパチュラ
- ・アルミフォイル
- ・ユニパック
- ・油性マーカー

1. プレスの準備をする



①サニメント手袋をつけ、作業スペースにアルミフォイルを敷く。



②右手奥にある引き出しからプレス治具、位置出しピン、カソードとプレスピンを用意する。



③位置出しピンの凸を上にして治具のホルダーに入れる。



④カソードを位置出しピンの上に重ねて入れる。



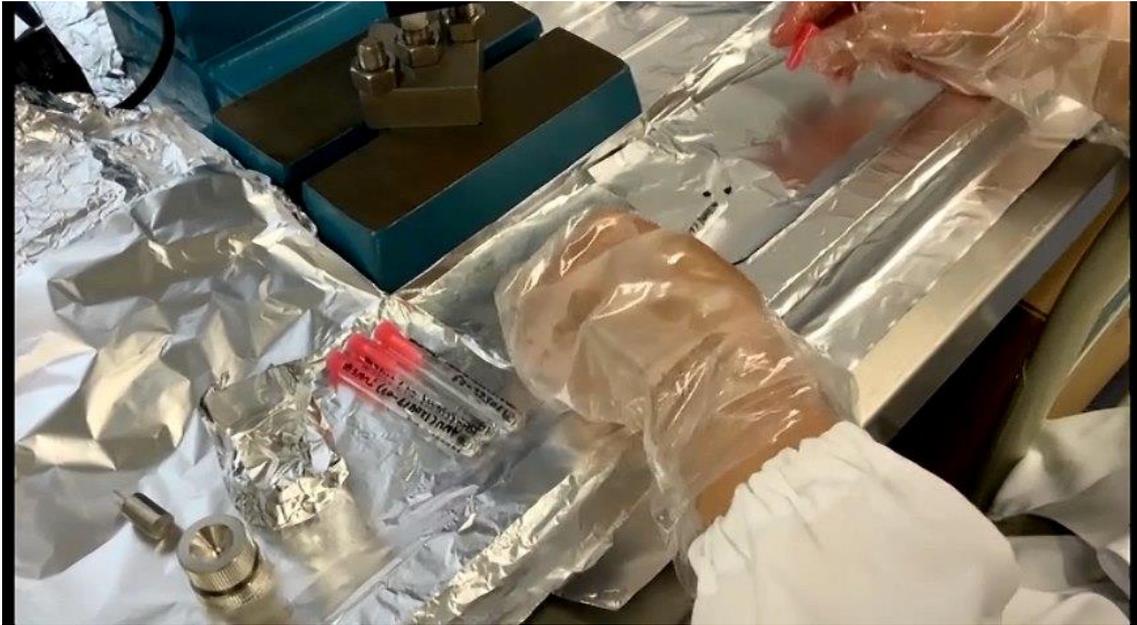
⑤治具の蓋をしっかり締めて準備完了。

2. グラファイト化した STD をカソードに入れてプレスする。

コンタミネーション防止のため、STD の種類ごとにプレス治具、プレスピン、スパチュラ、サニメントを新しいものに変えましょう！



①STD 名と秤量日を確認する。



②C3 なら 4port 分、ANU・NIST なら 5port 分のグラファイトをアルミフォイルの上に出す。



③スパチュラのヘラの方を使い、押しつぶすようにしてペレット状のグラファイトを粉々にする。



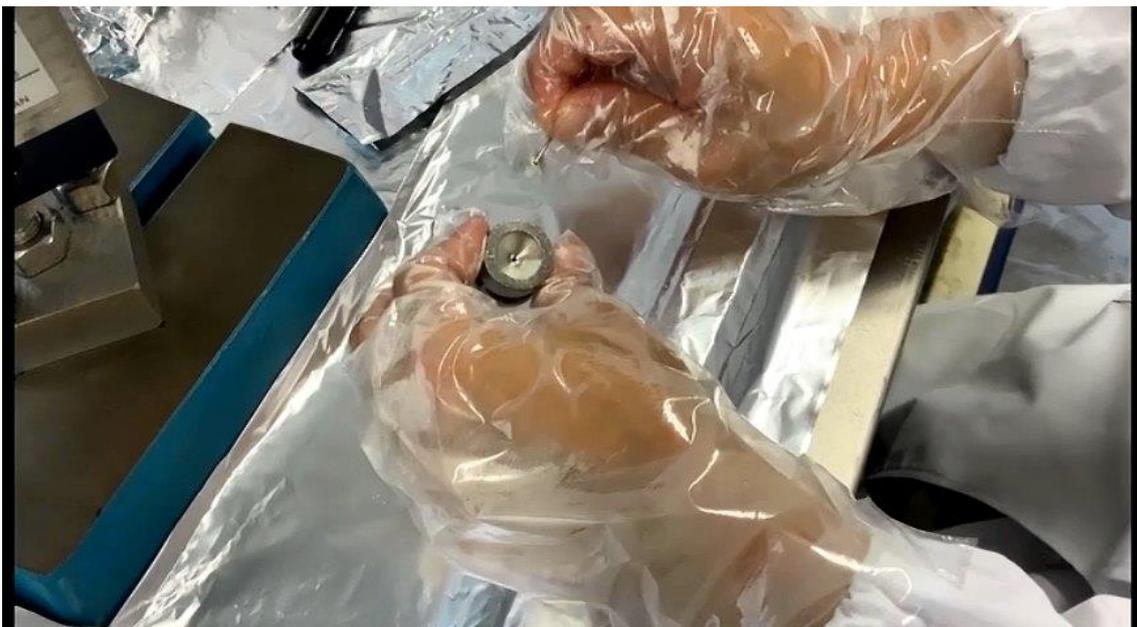
④均一になるようによく混ぜる。



⑤ANU・NISTは6等分（C3は4等分）に分ける。



⑥1/6 量を組み立てたプレス治具に入れる。



⑦プレスピンを使いグラファイトをカソードの中に全て入れる。



⑧プレスにセットして、600Nで5秒間プレスする。



⑨プレス治具の蓋を取り、カソードをユニパックに入れる。



⑩同じプレス治具に新しいカソードを入れて蓋をする。

⑪残りのカソード 5 個分は⑥～⑩を繰り返す。



⑫ユニパックに STD 名、秤量日を記入する。

・ANU・NIST は、一度のプレスでカソード 6 個分出来上がり、1 回の測定で使用するカソードの個数は 3 個なので、残りの 3 個は次の測定で使用します。そのためユニパックに入れるときは 1 回の測定に必要な分ずつ（3 個ずつ）にまとめて入れることをお勧めします。

・C3 は 1 度のプレスでカソード 4 個分作り、1 回の測定で使用する個数は 4 個となります。